

令和2年度特色入試問題

《教育学部》

課題

100点満点

(注意)

1. 課題冊子，資料集および解答冊子は係員の指示があるまで開かないこと。
2. 課題冊子は表紙のほかに1ページある。資料集は表紙・資料一覧のほかに12ページある。
3. 解答冊子は問いごとに1冊ずつある(全部で3冊ある)。それぞれの解答冊子は表紙のほかに3ページ，2ページ，3ページある。なお，別に下書き用紙(8ページ)を配布する。
4. 試験開始後，それぞれの解答冊子の表紙所定欄に受験番号・氏名をはっきり記入すること。表紙には，これら以外のことを書いてはならない。
5. 解答はすべて解答冊子の指定された箇所に記入すること。
6. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。
7. 解答冊子は，どのページも切り離してはならない。
8. 課題冊子，資料集および下書き用紙は持ち帰ること。解答冊子は持ち帰ってはならない。

【問題】

私たちの社会には、普遍的に通用すると考えられている様々な原理が存在する。例えば、生命の尊重、法の遵守、文化多様性の擁護などである。これらについて、「大切である」あるいは「賛成する」ということは容易い。しかし、現実の社会では、これらの原理が、特定の状況下で、異なる見解や対立ないし矛盾するような行動指針と結びつき、様々な葛藤を生じさせてしまうこともある。このような事態に関して、以下の資料（資料集掲載の資料1～資料6）を用いながら、問1～問3に答えなさい。

問1. 資料1と資料2に示した英文を読み、以下の問題に答えなさい。

(1) 資料1で述べられていることを600字以内で要約しなさい。

(15点)

(2) 資料2の世論調査の結果が示していることについて300字以内で説明しなさい。

(15点)

問2. 資料3～資料6を読み、そこで描かれた状況について、どのような視点、どのような立場からの対立や不一致がみられるか、また、事態を收拾あるいは克服するためにどのような方策があるかを考え、それぞれの資料について論じなさい。

(40点)

問3. 対立や不一致、あるいは矛盾する複数の原理がぶつかりあうような事例をあなた自身が設定し、その当事者として判断や決断を下し結論を出すとしたら、どのような可能性が考えられるかについて論じなさい。

(30点)